

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)

【公表番号】特表 2016-521174 (P2016-521174A)

【公表日】平成 28 年 7 月 21 日 (2016.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2016-043

【出願番号】特願 2016-512303 (P2016-512303)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/315 (2006.01)

A 6 1 M 5/24 (2006.01)

A 6 1 M 5/31 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/315 5 5 0 J

A 6 1 M 5/24

A 6 1 M 5/315 5 5 0 N

A 6 1 M 5/31 5 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 25 日 (2017.4.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

図 5 a ~ 5 c は、本発明による方法の実施形態の流れ図である。これらの方法は、たとえば、補足デバイス 2 (図 2 a および図 4 参照) のプロセッサ 2 4 によって実行することができるが、図 2 b の補足デバイス 2 のプロセッサによって実行することもでき、たとえば、補足デバイス 2 のプログラムメモリ 2 4 0 内に記憶することができ、プログラムメモリ 2 4 0 は、たとえば、図 6 の有形記憶媒体 6 0 の形状をとることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 6】

補足デバイス 2 は、使用者が投薬量ダイヤル 1 2 を回したことを検出したことに応答して、D 6 によって示すデフォルト状態から遷移することができる。これを図の I 3 に示す。これに応答して、補足デバイス 2 は、図 8 の D 7 に示す投薬量ダイヤル設定状態に入る。ここで、補足デバイス 2 は、注射ペン 1 に現在ダイヤル設定されている薬剤の用量を L C D 2 1 上に表示する。これは、O C R リーダ 2 5 によって注射デバイスから図を読み取ることによって、補足デバイス 2 に知られることとなる。この状態で、補足デバイス 2 はまた、注射デバイス 1 内に存在する薬剤のインジケーションを表示する。表示 D 7 で、薬剤は、薬剤の名称を示すテキスト、この場合は「A p i d r a」の表示によって示される。